

# 平成29年度 入札監視委員会議事概要

九州防衛局

開催日及び場所	平成29年6月28日(水)	九州防衛局 第1会議室
委員	牧角 龍憲 (大学名誉教授) 諏佐 マリ (大学准教授) 増永 弘 (弁護士)	松藤 泰典 (大学名誉教授) 清水 秀幸 (公認会計士)

## I 地方防衛局等が発注する建設工事等に関する審議

審議対象期間	平成29年1月1日～平成29年3月31日
審議対象件数	53 件

### 1. 入札状況について (入札参加資格の設定及び落札者決定の経緯等について)

抽出件数	7 件	(審議結果)
建設工事	一般競争	0 件
	一般競争 (政府調達協定対象外)	4 件
	随意契約	0 件
建設コンサルタント 業務等	3 件	3 抽出事案について
意見・質問		回 答
○委員からの 意見・質問  ○それに対する 回答等	【建設工事等発注実績について】 特になし  【指名停止の措置状況について】 特になし  【抽出事案について】 1 【大分(28)受水槽整備等土木 工事】 (一般競争(政府調達協定対象外))  ・工事費が高額な土木工事なのに1者 応札となった要因はなにか。	1 建設工事等発注実績について  2 指名停止の措置状況について  ・不成立後に、再公告した結果、年度 末の発注となってしまったことが考 えられる。

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>・ 3回までの入札の結果、高落札率となった理由はなにか。</p> <p>2 〔鹿屋（H28）構内道路補修工事（その1）〕 〔鹿屋（H28）構内道路補修工事（その2）〕 〔鹿屋（H28）構内道路補修工事（その3）〕</p> <p>（一般競争（政府調達協定対象外））</p> <p>・ 分割工事となった理由はなにか。</p> <p>・ 地元企業への配慮などの要素を含んだ公共工事の発注であったのならば、法令等の問題が生じない範囲で参加資格要件の地域を市町村単位にするなど更に絞り込めなかったのか。</p> <p>3 〔赤崎貯油所（28）建築工事監理業務〕</p> <p>（一般競争（政府調達協定対象外））</p> <p>・ 工事監理業務について、委託する詳細について説明されたい。</p>	<p>・ 更に、専門工事である受水槽の製作が、直接工事費の約6割を占める工事であったことから、受注業者の儲けが少ない上、手間がかかることなどから敬遠され、1者応札になったものと考えられる。</p> <p>・ 1回目の入札において、予定価格と業者側の応札価格に大きな開差があったことから、業者から提出された内訳書と当局積算書を比較した結果、共通仮設費及び現場管理費の乖離が大きかったため、補足説明を実施し、2回目及び3回目の入札の結果、落札となり、高い落札率となったものである。</p> <p>・ 地元自治体からの要望に加え、工事内容や工期、地域性等について検討した結果、十分に競争性が確保できることから、地元企業の参入機会を確保するよう配慮したものである。</p> <p>・ 参加資格要件については、当該工事規模では県を最小単位とし、更に総合評価方式の地域精通度評価を取り入れ、地元企業の受注に最大限の配慮を実施した。</p> <p>・ 本来、職員が工事監督官として実施する工事現場の監理について、建設コンサルタントの技術者をもって、監理させることで、工事の品質確保を行うものである。</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>・落札率が70.45%と低いが、予定価格の算定は適正か。</p> <p>4〔熊本防衛支局（28）設備積算等技術支援業務（その1）〕 〔熊本防衛支局（28）設備積算等技術支援業務（その2）〕</p> <p>（一般競争（政府調達協定対象外））</p> <p>・2件の業務について、同様な業務と思われるが、分割発注としたのはなぜか。</p> <p>・2件とも、予定価格及び契約金額が同額なのはなぜか。</p>	<p>・予定価格の算定にあたっては、「建築工事に係る工事監理業務積算要領」に基づき、適正に算定を行っている。</p> <p>・落札率が低かった要因としては、受注業者へ確認を行ったところ、会社経費を極力削減し、技術者の実績確保及び有効配置するため、受注したとのことであった。</p> <p>・その1は「電気」、その2は「機械」の積算等の技術支援業務であり、支局の発注に際し、それぞれ職種に分かれて積算している。</p> <p>・発注に際し、登録業者から事前聴取を実施したところ、同時に両職種の技術者の確保が困難な業者が多数であったことから、分割発注とした。</p> <p>・予定価格及び契約金額については、積算要領が防衛省のホームページに掲載されており、両件とも、管理技術者及び担当技術者の人工数及び配置期間が同じであることから、同額となったものである。</p>
<p>委員会による意見の具申又は勧告の内容</p>	<p>なし</p>	

2. 談合疑義案件の処理状況について			
談合疑義件数		0 件	(審議結果)  該当案件なし
工事	談合情報	0 件	
	点検結果疑義	0 件	
業務	談合情報	0 件	
	点検結果疑義	0 件	
		意見・質問	回答
○委員からの意見・質問			
○それに対する回答等			
委員会による意見の具申又は勧告の内容			

3. 入札結果の事後的・分析結果について（公正入札調査会議への報告内容の確認等）		
審議概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一位不動の分析</li> <li>・ 順位不動の分析</li> <li>・ 低入札、不調、不成立事案の分析</li> <li>・ 落札率、応札率の分析</li> </ul>	
	意見・質問	回答
○委員からの意見・質問	なし	
○それに対する回答等		
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	